

# Grand Toit News

Grant News

vol. 72  
Winter 2022



特別展紹介

「進化し続けるかたち—彫刻家の情熱と仕事」

インタビュー

「新センター長・的野克之にきく」

- 特集 「館外へ飛び出し地域の方々と共に盛り上げる文化芸術活動」
- 「Grantのおすすめ」  
桂吉坊落語会 日本遺産・医光寺
- リレーでコラム ほか

新年は  
4日(水)から開館!

今回は「企画展」ではなく「特別展」なんです。

そうです。展示室 A、B、C、3つの部屋を会場とする大規模展ですが、本展は受贈記念ということで、通常のコレクション展料金(一般300円)で、たっぷり作品が見られます。島根県は、2020年度と2021年度、彫刻家・澄川喜一氏より120点の彫刻作品と、過去の制作や仕事に関する、多くの貴重な資料を寄贈いただきました。澄川氏は Grant が開館した2005年から2022年6月まで、17年間センター長を勤めました。2020年には文化勲章を受章し、それが地元でも大きな話題になったのは、記憶に新しいところだと思います。今回の寄贈は、自分を育ててくれた故郷に恩返しをしたい、作品をなるべくまとめたかたちで寄贈したい、というご本人の想いから実現しました。国内の美術館でも随一の澄川コレクションとなります。

どんな作品が展示されるのですか？

今回寄贈された彫刻作品は、学び舎である東京藝術大学を出て、一人の彫刻家として歩み始めた1958年27歳頃から、2021年、90歳を迎えるまでの63年



《そのあるかたち01-2》  
2001年 当館蔵

## 進化し続けるかたち 彫刻家の情熱と仕事

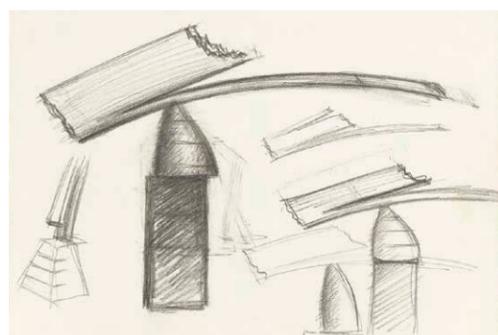
特別展「受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事」について、担当学芸員の左近充直美さんにききました。

間に制作した作品群です。全ての年代の作品が揃っているわけではありませんが、初期の具象彫刻から、抽象の世界に大きく舵取りを変えた「MASK」、その後主要テーマとなった「そのあるかたち」。そして「フェニックスの翼」や「TO THE SKY」など、それぞれの主題が進化を続ける様子が作風の変遷から窺えます。島根では未公開の作品も含まれます。

120点の寄贈作品全てを一度に展示するのはスペース的に難しく、今回は、そのなかから選りすぐりの約50点の彫刻作品を展示します。また、過去に制作した屋外彫刻の図面やスケッチブック、下絵、マケット(小型模型)、石膏原型、絵画やデザインの仕事など、今まであまり人の目に触れることがなかった仕事の裏側にも着目します。

作家の制作資料が見られるのは、珍しいことですね。

そうですね。2015年に企画展「澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル」の準備で、アトリエに何度も通ううちに、大量のスケッチブックや資料類の存在を知りました。その時に出品をお願いしましたが、「恥ずかしいからね。」と、やんわり断られました。作家にとって「完成形」ではないもの、つまり制作の過程や模索の裏側は人に見せたりするものではない、というお気持ちがあったようです。しかし何年か経ち作品の話の色々と伺ううちに、ある時「見てもいいよ。」「気になったものは全部あげるよ。展示してもいいよ。」とお許しただけだったのです。そこには何度も



《スケッチブックより》制作年不詳 当館蔵

何度もスケッチブックの上で形を探っている様子が窺えました。古い昔のものから近年のものまで、彫刻作品が生み出されるまでの様々な思索のあと。今ではもう作品が残っていない貴重なスケッチもありました。それらの線は生き生きとしてとても美しいです。寄贈資料はスケッチブックだけでも約250冊以上あり、今回全ての公開は難しいですが、可能な限り紹介したいと思っています。



SUMIKAWA KIICHI

# 仕事 澄川喜一 彫刻家

特別展  
受贈記念

2023 2/4 sat  
4/3 mon

【開館時間】9時30分～18時(展示室への入場は17時30分まで)  
【休館日】毎週火曜日(3月21日は開館)、3月22日(水)  
【観覧料】当日券/一般:300(240)円、大学生:200(160)円、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料  
【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、TSKさんいん中央テレビ

島根県立石見美術館 島根県芸術文化センター「Grant」内

### ◆関連プログラム

記念講演会  
「石のななし—澄川作品と徳山みかげ」  
日時:2月11日(土・祝) 14:00～15:30  
講師:秋本治隆(黒髪石材株式会社) 会場:講義室  
申込不要/先着40名/参加無料  
※ただし観覧券またはミュージアムパスポートが必要

ワークショップ  
「木でつくる—小さなモニュメント」  
展示室で作品の素材である木についてのお話を聞いた後、木材で小さなモニュメントをつくります。  
日時:3月18日(土) 14:00～16:00  
講師:熊谷広実(中村木材工業株式会社)  
会場:講義室  
対象:どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)  
事前申込制/先着15名/参加無料  
※ただし観覧券またはミュージアムパスポートが必要  
申込方法:事前にメールか電話にて、①イベント名  
②氏名 ③電話番号 ④参加人数をお知らせください。  
【関連プログラム申込み専用アドレス】  
sumikawa@grandtoit.jp  
TEL: 0856-31-1860 (Grant代表)

# INTERVIEW

島根県西部(石見地方)の文化拠点として建設され、開館から17年目を迎えた「グラントワ」。  
開館以来、長くセンター長を務めた彫刻家・澄川喜一に代わり、新センター長に就任した的野克之に話をききました。



澄川喜一・前センター長と並んで(2021年)

## 充実した活動を継続 引き出す、 職員のアイデアを

8月に新センター長として就任されましたが、これまでのグラントワとの関わりを教えてください。

澄川喜一前センター長の後を受けてセンター長に就任しましたが、実はグラントワとの関わりは古く、島根県が益田市に文化施設を作ろうと動き出した頃からです。その頃はまだ美術館と劇場の複合施設にすることも、場所も決まっていませんでした。澄川先生とのお付き合いはもっと古く、松江市の県立美術館建設についての意見を伺うために、当時東京藝術大学の美術学部長をされていた先生の元を一人で訪ねて以来です。学部長室を訪ねた私を先生はあのいつもの笑顔で迎えてくれて、ご自身の考えを熱く語っていただきました。その後先生には初代センター長に就任いただき、私とは上司と部下という間柄になり、来館された際には常に一緒にいて、いろいろなことを学ばせていただきました。

これから取り組んでいきたいこと、抱負は？

センター長の辞令を丸山島根県知事からいただいた際に、知事からは澄川先生のよいところを引き継ぎ、自分の個性を加えていくように、と言われました。澄川先生は我々職員の考えを積極的に引き出し、決して否定せず、どうしたら実現できるのかを一緒に考えてくれました。そんな先生に一步でも近づきたいと思っています。また、松江の島根県立美術館の藤間寛館長は、かつて一緒にグラントワで勤務していた気の知れた仲間です。そういう個人的な人脈も活用しながら、より一層東西交流を進めて行き、県民の皆様のご期待に応えたいと思います。

読者の皆様へのメッセージをお願いします。

2023年度には大小ホールが再開します。それに合わせて劇場では様々なジャンルの企画を計画しています。美術館も学芸員の長年の調査研究に基づく展覧会などを中心に色々と準備中です。大いに期待していただければと思います。



的野克之 MATONO KATSUYUKI

大学で美術史を専攻。芸術文化センター建設室主任学芸員、島根県立石見美術館学芸課長、島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長などを経て2022年8月より現職。

## LIFE with グラントワ

僕の大切な西の文化拠点

グラントワさんとご縁が出来てから、なんと7年。仏像、浮世絵、石見神楽と僕はこの劇場で様々なモノとダンスを組み合わせる新しい試みに挑戦させていただきました。特に石見神楽とのコラボレーションは、それは濃厚ながっぷりよつだったものですから、石見神楽神和会やグラントワスタッフの皆さんとはまるで古くからの友人のようで、僕

にとって益田は第二の故郷のような感覚です。古人が生み出した物や文化を昔の良さも残しつつ新しい表現の形として現代に提示する、そんな作業がこの劇場ではスリリと出来る。それはこの地ならではの懐の深さと文化を大切にすする人々が多いからではないでしょうか。一度出来たご縁を大切に育み伸ばして下さるこの劇場の、人として真摯な姿勢は、全国の色々な劇場を見てきた僕としても群を抜いて居心地の良さを感じます。GF神楽はじめ、これからもここで様々な試みを一緒にできることを期待しております。

[CAT-A-TAC 主宰 藤田善宏]

## PICK UP EVENT



### アマチュアミュージックフェスティバル in 益田2023

2023年3月12日(日)  
14:00開演(予定)  
ふれあいホールみと  
(益田市美都町都茂)

島根県西部を中心に活動する地元ミュージシャンによるライブイベントを、今年もふれあいホールみとで開催します。アツいライブパフォーマンスをお楽しみください!

[料金]全席自由・大人1,000円、中学・高校生500円、小学生以下無料  
※プレイガイド、出演者の情報など、詳しくはグラントワホームページをご覧ください。

## 劇・場・を・探・る



### 【音源】

演劇などの催しでは、場面に合わせた効果音や音楽を流します。これらを総称して音源と呼んでおり、音源の再生は音響担当が芝居の呼吸に合わせて行うことが一般的です。また、お客さまに臨場感を感じてもらえるよう「ドアを開ける音」をドアの近くに置いたスピーカーから出すなど工夫します。

今回は「舞台床」です。

グラントワ ダイバーシティ いわみ事業

### にぎやかな日々

一人ひとりの表現を楽しむ音楽会

にぎやかな音 にぎやかな声  
一人ひとりの表現は違うけれど それだから楽しい  
2023年 にぎやかな音楽会をご一緒にしませんか

2023 1.15日

益田市総合福祉センター  
(益田市須子町) 入場・参加料無料

開場時間、申込方法につきましては決まり次第、HP等でお知らせします。

## 島根邦楽集団

第17回 定期演奏会

2023年3月5日(日)

「グラントワ」スタジオ1

暖かくなる春の日に  
優雅な邦楽の調べを  
お楽しみください。  
今年はお茶のふるまいを  
ご準備して多くの方へ  
ご来場をお待ちしています。

島根邦楽集団代表  
熊谷雅楽 映

開演時間、入場料、チケット発売日は決まり次第、HP等でお知らせします。

あなたのまちで味わう芸術文化

### グラントワ 館外公演事業

いわみ芸術劇場の大・小ホール休館中のあいだも、文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。

アーティストがあなたのまちにやってくる!?

#### いわみステージ

石見地域全域を対象に様々なジャンルの公演を開催します。

まちのあちこちでコンサートを開催 /  
グラントワ まちなか劇場

主に益田市内のお店や文化拠点を  
中心に公演をお届けします。

各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

### いわみ芸術劇場

大ホール・小ホール

## 2023年5月から再開

2021年11月から始まった耐震改修工事に伴い、長らく休館中のいわみ芸術劇場は、2023年5月よりホール事業を再開いたします。ホール事業再開後の詳しい公演ラインアップは、2023年2月中旬ごろより配布予定の「2023イベントスケジュール」ほか、グラントワホームページ等でもお知らせいたします。

天井の落下防止対策や照明のLED化を行い、より安全性と快適性が高まったホールでは、再開記念公演ほか多数のイベントを開催予定です。再開まで、今しばらくお待ちください。

※再開時期は予定です。工事状況ほか諸事情により変更になる場合があります。

# 館外へ飛び出し 地域の方々と共に盛り上げる 文化芸術活動

いわみ芸術劇場では、2021年11月から始まった大・小ホールの耐震改修工事に伴うホール休館中も、グラントワ周辺地域から中山間地域まで多くの方々へ芸術文化に触れられる機会の創出に取り組んでいます。芸術文化を通じて、教育・福祉・まちづくりをはじめとする様々な方と繋り、創造性溢れる地域づくりを展開してきました。



まちなか劇場(デルマーシアターにて)

## 館外事業の取り組みについて

今年度、いわみ芸術劇場ではホールを飛び出し出前公演やアウトリーチ事業を実施しています。益田市の中心部で開催している「まちなか劇場」では、ホー

ルが使用できない間、劇場がまちに飛び出して、市内の方々と一緒に益田を盛り上げる取り組みを進めています。4月は海の芸術村デルマーレキアームを会場に海辺のコンサートを開催。9月は益田駅前の新天街商店会とのコラボ企画としてキャバレー赤玉で魅惑のムード音楽をお届けしました。年明けの1月下旬には、日本遺産の構成文化財のひとつ医光寺にて新春落語会を開催する予定です。その他館外での鑑賞事業「いわみステージ」とし

て7月には美郷町のガムラン楽団とバリ舞踊団からなる「ミサト・サリ」と安来節の公演をみさと館で実施。日本の伝統芸能・安来節とインドネシアの伝統芸能の共演による見ごたえのあるイベントとなりました。

## 地域のニーズをくみ取り 連携した事業へ向けて

グラントワの館外育成事業としては、実施地域の団体・組織・



まちなか劇場(キャバレー赤玉にて)



いわみステージ(みさと館にて)

個人等と連携して文化芸術に関するプログラムを開催しています。今回は、津和野町にて教育関係団体「(一財)つわの学びみらい」を連携先の軸とした3年間に渡るプログラムを計画中です。1年目の今年度は、津和野町民の表現活動の充実を目的として、アーティストと参加者が出会い、ワークショップや作品づくりを通じて表現することの楽しさについて理解を深めるプログラムを実施します。このように、鑑賞や体験などグラントワならではの取り組みを通じて、地域に暮らす人々が多彩な文化芸術に触れ、自由に発想し、表現できる場づくりを行い、文化芸術でまちを盛り上げていきたいと考えています。

## Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



### 〈新春特別公演〉 桂吉坊落語会 日本遺産・医光寺

落語の始まりは、昔々お坊さんが村の人たちをお寺に集めて仏教の話を聞かせた「お説教」(法話)という説話があります。「お説教」の極意は「初めしんみり、中おかしく、しまい尊く言い習わし」というものでした。静かに語りだし、途中で面白い話を入れ、最後には尊い「仏の教え」で終わる。この「中おかしく」の部分を発展させていったものが現在の「落語」なのだそうです。

年明けに、日本遺産構成文化財のひとつである〈医光寺〉で落語会を開催します。出演は上方落語家の桂吉坊さん。落語会の前日には、落語の楽しみ方を解説する落語入門講座も開催します。

〈落語〉と〈中世・益田〉の魅力を楽しめる2日間!ぜひ益田へ足をお運びください!

落語入門講座  
2023年1月28日(土)  
[会場]多目的ギャラリー

桂吉坊落語会  
2023年1月29日(日)  
[会場]医光寺(益田市染羽町)  
※日時・料金等、詳しくはグラントワホームページをご覧ください。

桂吉坊 KATSURA KICHIBO  
落語家。兵庫県西宮市生まれ。1999年、桂吉朝に入門。2000年から桂米朝のもとで内弟子修業。2003年内弟子卒業。以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。

## みさき よいて 美術館に

特別展  
「追悼 森英恵」  
12月22日(木)～  
2023年1月29日(日)  
会場:展示室B



図1  
《ジャンプスーツ、カフタン  
「紫のバジャマドレス」》1966年

特別展「追悼 森英恵」について、担当学芸員の南目美輝さんにききました。

Q1. 森英恵さんの追悼展が開催されるのですね。

今年8月に亡くなられた森英恵さんを悼み、開催することとなりました。森英恵さんは、世界的に知られるファッションデザイナーです。島根県吉賀町の出身で、「ファッション」を活動の柱のひとつとしている当館は、開館前からアドバイスをいただいていた。貴重な作品も多数ご寄贈いただいています。当館では、これまで大規模な個展を2度開催し、オートクチュールを中心にその多岐にわたる仕事を紹介しました。開館10周年に際しては、受付や監視業務にあたる女性スタッフの制服をデザインしていただき、現在も大切に使用しています。

Q2. 改めて、森英恵さんはどんな仕事をされたのでしょうか。

森さんは戦後間もない1951年から制作活動を始め、その頃全盛期であった日本映画の衣裳デザインで注目されました。1960年代半ばにはアメリカに活動の場を広げます。アメリカでの実績がその後のパリでの仕事につながり、1977年パリのオートクチュール組合に東洋人として初めて加盟が認められるという快挙を成し遂げました。他方、1960年代からは質の高い既製服を発表。また日本航空客室乗務員の制服や、バルセロナ五輪日本選手団の公式ユニホームなど、数多くの制服のデザインも手がけました。学校の制服もデザインされており、身近に感じていらっしゃる方もおられるでしょう。さらに、切れの良い言葉遣いで読ませる著作もいくつかあり、その優れた「言葉の仕事」も印象深いものです。

Q3. 今回の特別展では、どんな作品が見られるのでしょうか。

1964年にアメリカで初めて発表したドレスから、最後となった2004年秋冬のパリ、オートクチュールのコレクションの作品まで、20数点を展示します。雑誌『ヴォーグ』に写真家リチャード・アヴェドン撮影で掲載された森さんの代表作であるドレス(図1)は、見どころのひとつです。また60年代の既製服や、森英恵の店で顧客に配布された『森英恵流行通信』などの出版物も紹介します。

この機に、世界で活躍する日本人デザイナーのパイオニアとして、創作活動にまい進し続けた森さんの仕事の一端に触れていただければ幸いです。



《カフタン、ドレス》1976年

# 追悼 特別展 HANAEMIORI

2022年12月22日[木]—2023年1月29日[日]

島根県立石見美術館 展示室B 島根県芸術文化センター「グラントワ」内

開館時間:9:30~18:00 [展示室への入場は17:30まで] 休館日:毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)  
観覧料:一般:300(240)円、大学生:200(160)円、高校生以下無料 主催:島根県立石見美術館、しまね文化振興財団  
※( )内は20名以上の団体料金 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料

## ◎関連プログラム

### 講演会「わが母・森英恵の思い出」

森英恵さんの長男である森謙さんをお招きし、森さんの人となりや創作活動について、家族ならではの視点でお話しいただきます。

1月21日(土) 14:00~15:00 多目的ギャラリー

講師:森謙(一般財団法人ファッション振興財団 理事長)  
聴講無料、事前申込制(定員:先着60名)  
[申込方法]事前にメールか電話にて①イベント名②氏名  
③電話番号④参加人数をお知らせください。  
申込専用アドレス: hanaemori@grandtoit.jp  
Tel: 0836-31-1860(グラントワ代表)

### ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

1月7日(土)、29日(日) 各日14:00~



「森英恵流行通信」17, 18, 22, 24, 29号  
発行:ファッションハウス 森英恵 1966-67年



黒田清輝《ゴブラの黄葉》1891年

## コレクション展 没後100年記念 森鷗外とゆかりの画家たち

2023年1月29日(日)まで開催中  
島根県立石見美術館 展示室A

2022年が森鷗外の没後100年、生誕160年にあたることを記念し、所蔵作品から鷗外と交友のあった画家たちの作品を紹介します。

## 2/4 開幕!! 特別展 受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事

2023年2月4日(土)~4月3日(月)  
※1ページ「特別展紹介」参照

展示室Cは2023年2月3日(金)までメンテナンスのため閉室します。

ミニ観にレビュー 椅子やテーブルといった家具から照明器具、ファッション、装飾など様々なジャンルのモダンを感じることができた。家具のデザインは特に興味深く、当時の職人の制作風景などを妄想した。(益田市・40代/企画展「交差するモダン 機能と装飾のポリフォニー」)  
初めて見せていただく音楽ユニットのお2人でしたがとても美しい歌声で、ギターやウクレレの音と共に堪能させていただきました。紙芝居と歌を合わせた部分も面白い演出で、楽しい時間を過ごせました。(益田市・40代/きんさいライブ「マイトリートコンサート」)  
久しぶりに生の演奏を聴きました。ひと時の幸せな時間を過ごしました。2人の息の合った演奏が素晴らしいです。(益田市・80代/いつでもどこでも音楽祭「芸術を愉しむ秋のひととき」)

# Grand Toit & / リレーでコラム 6

川西由里 (石見美術館専門学芸員)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。  
第6回は、学芸課の川西由里さんです。

グラントワとは、2000年に建設室に着任した時からのつきあいです。施設の設計や美術作品の収集を通して美術館を形づくる経験ができたのは、とても幸運なことでした。

もうひとつ、ここで働けてよかったと思うのは、劇場が共にあることです。現在「ミュージア」として行っている美術館と劇場の協働事業は、実は開館前には全く想定されていませんでした。視察に行った他県の類似施設でも「美術館と劇場の相乗効果はあまりない」ときいていました。

劇場と協働する面白さに目覚めたのは、2010年に始まったシリーズ「名画をいろいろる話芸と音楽」がきっかけでした。弁士と音楽家を展示室に招き入れ、絵のために書き下ろした新曲を生演奏するというアイデアが実現したのは、劇場スタッフのサポートがあればこそのものでした。

「こういうコラボがグラントワの強みになる」と確信した(面白くてやめられなくなった)私は、調子に乗って「仏像×ダンス×石見神楽」などの珍奇な企画を思いつき、そのたびに周囲に助けをもらってきました。今では色んな人が投げた色んな球が、グラントワを飛び交っています。

音響機材やピアノを展示室に持ってきてもらえるといった物理的な利便性だけでなく、アーティストやスタッフがジャンルを超えて一緒に創造できる環境は、めったにないものです。この「のびしろ」にぜひ、今後もご注目いただきたいと思います。



「名画をいろいろる話芸と音楽」vol.2

次回は田原維子さん(総務広報課 広報グループ)の予定です。

## 報告します!

ミュージア vol.18  
音楽会「古典調律で奏でる音楽」を開催しました。



当日の様子

新たなアートパフォーマンスを創造・発信する劇場と美術館の共同企画「ミュージア」。今回は1910～30年代のデザインの動向を見つめる企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」にちなみ、当時のアーティストたちが耳にしていたであろう音楽を色々な調律の響きを通して想像するコンサートを開催しました。

第1部では調律師の日野博さん、ピアニストの歌島昌智さんによる解説とともに、3種類の調律の聴き比べをしました。第2部ではヴァイオリンの辺見康孝さんをお迎えして、ピアノとヴァイオリンの協奏による古典調律の響きをじっくりと聴いていただきました。

### 参加者の感想

調律の違いを肌で感じる生まれて初めての機会でした。

(鳥取県・30代)

作曲された時代を味わっているような気分で聴きました。

(益田市・60代)

「演劇つろう!」  
グラントワ演劇工房」開催



当日の様子

島根県で演劇活動をしている坂井陽介さんを講師に、台本を持って上演するリーディング形式の作品づくりにチャレンジしました。参加者は演技初体験の方から経験者まで8名。チームに分かれてコメディや人間ドラマなどの短編を4作品づくり、上演しました。台風の影響で、3日間の予定を2日間に短縮して開催しましたが、参加者の熱意が伝わる舞台となりました。

「つくる! おどる! たのしい! あーっ! とミュージアム」開催



当日の様子

講師に藤田善宏さんをお迎えし4日間に渡るダンスワークショップを開催しました。初日はオリジナルのお面を作成したりゲームをしたりして身体をほぐし、その後は本番に向けての振付の練習に励みました。本番は約20分の短い発表ではありましたが4日間の成果を十分に発揮できた発表会となりました。

ご来館の皆様へ

新型コロナウイルス感染症  
感染拡大防止のため  
ご協力をお願いいたします。

- ◎マスク等の着用
- ◎美術館・公演会場などへ入場前の検温・手指消毒  
※37.5度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合があります。
- ◎緊急連絡先などのご記入

発熱、咳等の症状のある方、体調不良の方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴のある方は、ご来館をお控えください。

## INFORMATION

■開館(利用)時間  
※グラントワは8:45から開館  
石見美術館 9:30～18:00  
(展示室への入場は開館30分前まで)  
いわみ芸術劇場 9:00～22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)  
※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。  
石見美術館 毎週火曜日、年末年始、12/29  
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始  
※年末年始:12/30～1/3



交通案内  
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分  
◎JR益田駅から徒歩15分  
◎駅・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分  
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分  
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

## グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」  
〒698-0022 益田市有明町5-15  
TEL: 0856-31-1860(代表)  
FAX: 0856-31-1884(代表)  
e-mail: zaidan@grandtoit.jp



www.grandtoit.jp

## 大ホール・小ホールは 2023年4月末(予定)まで休館中

石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用いただけます。

**読者プレゼント**

オリジナル  
サーモ ステンレスボトル  
(ミニサイズ・200ml)  
5名様にプレゼント!

※デザインは変更になる場合があります

毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、1月31日(火)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.72 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## グラントワ 通への道

**Q.** グラントワの外壁に足場が組まれているのをみました。何か工事を行うのでしょうか?

**A.** グラントワの外壁の一部には、石州瓦と同じ材料で作られたタイルが貼られています。このタイルが下地から浮いていないかどうかを確認するため、専用の小さなハンマーで叩きながら定期的に点検を行っています。外壁の足場はタイルの点検のために組まれたものです。

クリスマスパーティーはボニイのオードブルで...

## Xmas オードブル

ご予約承ります

受け渡し期間  
2022年12月  
**23日・25日**  
各日PM3:00からのお渡し

料金(2人用)  
**6,000円**

ボニイ特製  
**オードブル**  
承ります  
シェフ自慢のオードブルを  
ご家庭でお楽しみください。

■予約受付期間  
受付中▶**20日**

■受け渡し日  
2022年12月**31日** PM4:00 からのお渡し

料金(4～5人用) **15,000円**

※いずれのオードブルも、完全予約制です。※いずれも会員割引対象外

Restaurant  
**Pony**  
www.restaurant-pony.com/

■営業時間/11:00～22:00  
※イベントにより変更あり(夜は予約のみ)  
■店休日/不定休、年末年始  
■TEL/0856-31-1873

心弾むようなグッズを  
取り揃えております。

ミュージアムグッズ、美術・アートを中心とした様々な書籍、ポストカード、ステーションナリーグッズ、石見神楽グッズや益田市の名産品など、たくさんの商品を販売しています。ぜひ、お好きな商品を手にとって、ゆったりとご覧ください。

彫刻家  
受贈記念  
**澄川喜可**

仕事  
2/4sat  
4/3mon

関連グッズ発売  
コンテニールでは、ポストカードほか特別展受贈記念彫刻家・澄川喜可の仕事にちなんだ関連グッズを販売しています。展覧会とあわせてお楽しみください。

MUSEUM SHOP  
**con amore**  
www.grandtoit.jp/shop/

■営業時間/9:30～17:00  
■店休日/毎週火曜日、年末年始  
■TEL/0856-31-1874

## 石見美術館 ミュージアム パスポート

一般(税込)  
**3,000円**

大学生(税込)  
**1,800円**

小中高生(税込)  
**900円**

石見美術館の企画展とコレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

特典

- 提携美術館®の観覧料割引  
※県内外18施設(2022年2月現在)
- グラントワ提携店での優待サービス
- 「石見美術館ニュースレター」等のお届け
- 更新後の有効期間を一カ月間延長!

## グラントワ提携店を ご存知ですか?

グラントワ会員の特典として、グラントワ提携店(全30店舗:2022年4月現在)での優待サービスを受けられます。商品や食事の割引、プレゼントなど、提携店ごとに異なる様々なサービスをご用意しています。ご利用方法は、店頭で会員カードを提示するだけ。ぜひ、お得意のグラントワ提携店へお出かけください!

提携店の場所や詳しい内容は、WEBサイトでチェック!

www.grandtoit.jp/tieup/shop.html

# Facebook

やっています!

《石見美術館》で開催されるバラエティ豊かな展覧会や《いわみ芸術劇場》で開催されるオペラ、コンサート、映画などの情報ははじめ《グラントワ》で行われる様々なイベントや耳より情報をいち早くお届けします。

www.facebook.com/grandtoit.jp

いわみ芸術劇場  
大ホール・小ホール  
耐震改修工事の  
お知らせ

国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、いわみ芸術劇場大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事期間

現在工事中～  
**2023年4月末まで**

※工事期間は予定です。工事状況は各諸事情により変更になる場合があります。 ※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。 ※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。

お知らせ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、掲載の内容が変更・中止になる場合があります。最新の情報は、グラントワホームページにてご確認ください。